

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論	岩崎沙織	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
カラーコーディネートやUC（色のユニバーサルデザイン）など、実践的な色の知識・テクニック修得を目指します。配色ルールや色彩イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。			
【講義概要】			
デザインにおける色の役割、色彩の基礎知識、UC（色のユニバーサルデザイン）、色彩心理、色彩調和の講義・課題制作。色の効果を活用した作品の制作・発表 ※AFT色彩検定3級・UC級対応。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・自己紹介		
2	デザインにおける色の役割・色彩基礎		
3	課題制作①		
4	色彩基礎		
5	色彩基礎		
6	色彩心理		
7	課題制作②		
8	色彩調和		
9	課題制作③		
10	作品制作①		
11	作品制作①		
12	UC（色のユニバーサルデザイン）		
13	UC（色のユニバーサルデザイン）		
14	作品制作②		
15	作品制作②		
16	作品発表		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1983年生まれ。お茶の水女子大学生活科学部卒業。服飾史や民俗学を学ぶ。広告会社勤務後、2014年カラーコンサルタントとして独立。パーソナルカラー診断やカラー講座、ブランディング提案を行う。AFT認定色彩講師。UC級認定講師。著書に『「好き」と「似合う」がかなう色の組み合わせBOOK』（池田書店）			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブックデザイン	佐野洵	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
印刷物、そして立体としての本を作るのに必要な要素を考え、作っていく過程でイラストレーションとデザインの捉え方を明確にし、同時に技術を向上させることが目標です。			
【講義概要】			
本を構成する装画やタイトル、タイポグラフィ、印刷などの要素や役割について考え、自分の好きなものを題材にした単行本の装丁を実際に完成させていきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス、課題説明		
2	本の構成と役割について		
3	自主制作		
4	中間発表		
5	課題制作		
6	課題制作		
7	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ベーシックイラストレーション	都築 潤	1単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションを軸に、各種アイデア、デザイン、説明能力について、基本的な予備演習を行います。			
【講義概要】			
既存メディアへのイラストの実装。既存キャラクターのリデザインと展開。 メディアやテーマの要求に応えることと、そこから飛躍する発案をすること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題1 ガイダンス/出題/ラフ考案		
2	ラフ3案中間発表		
3	作品発表		
4	課題2 ガイダンス/出題/ラフ考案		
5	作品発表		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	商品企画・デザイン	株式会社サンシャイン エンタプライズ	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<ul style="list-style-type: none">・発想力を養う・マーケティングの基礎や商品製作のプロセスを知る・商品を販売するにあたっての原価・売価・利益などのお金の流れを理解する			
【講義概要】			
池袋・サンシャインシティ内にあるアミューズメント施設、「サンシャイン水族館」の商品開発を通してアイデア出しやデザインだけでなく、販売に至るまでの必要なプロセスを学びます。主にグループワークを中心として、実際に店舗や水族館を見学しながら、最終的に商品企画をグループ毎にプレゼンテーションします。アイデア力や実現可能性次第では、実際に水族館店舗での販売も検討します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課外授業		
3	授業/グループワーク		
4	課外授業		
5	授業/グループワーク		
6	授業/グループワーク		
7	プレゼンテーション・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	池袋ブランディング	田中北斗	1単位 27時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
グループワークで体験したフィールドワーク、リサーチ、企画、考え方を活かし、デザイン～モックアップに起こすことでよりリアルなクライアントワークを意識した作品制作を目指します。			
【講義概要】			
サンシャイン水族館の商品企画課題を引き継ぎながら、今回は個人ワークとなります。 グループワークで企画した商品を元に、個人個人が考える商品をデザインに起こし、モックアップ制作まで行います。商品及び商品を入れるパッケージまでを制作。各自の作品撮影も行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	アイデアチェック		
3	制作指導		
4	制作指導		
5	進捗プレゼンテーション		
6	ブラッシュアップ確認		
7	制作及び撮影		
8	制作及び撮影		
9	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デジタルイラストレーション	花島百合	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パソコンを使ってイラストを制作してもらいます。ソフトの長所や技術など、コンピューターを通しての作品作りを学びます。			
【講義概要】			
イラストレーター、フォトショップを使ったイラストレーションの制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	ラフ制作		
3	ラフチェック		
4	制作指導		
5	講評会		
6	課題説明、ラフ制作		
7	ラフ制作		
8	ラフチェック		
9	制作指導		
10	講評会		
11	課題説明、ラフ制作		
12	ラフ制作		
13	ラフチェック		
14	制作指導		
15	制作指導		
16	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 創形美術学校卒業後よりイラストレーターとして活動。ザ・チョイス入選。CWCチャンス展セミファイナリスト入選。広告、商品、出版物、キャラクターイラスト、アニメーション等のイラストレーション制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアデザイン基礎A	高林直俊	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
【講義概要】			
各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション (課題発表)		
2	アーティストライブ		
3	デザインの方向性と可能性の模索		
4	ラフアイデアチェック		
5	絞り込み案チェック		
6	絞り込み案 制作進行		
7	絞り込み案 制作進行		
8	課外授業		
9	制作集中日 & 個別相談		
10	制作集中日 & 個別相談		
11	制作集中日 & 個別相談		
12	プレゼンテーション		
13	フィードバック		
14	最終デザイン提出 & SNS展開力		
15	SNS展開力		
16	SNS展開力		
17	SNS用 作品提出		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛ける。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション表現基礎	山崎杉夫	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>「アートとイラストレーションの違いとはなんだろう？」そんな基本的なところから始めて、実技を通してイラストレーションへの理解と興味を深めていきます。ピカソと言う誰でも知っている人物と作品をテーマにしてイラストレーションに上げていきます。</p>			
【講義概要】			
<p>「パブロ・ピカソ」は誰もが知っている有名な画家です。ネットで検索したり、本屋で探せば様々な情報や画集、伝記本など数限りない資料が手に入るはずです。年代ごとに全然違う作風があり、友人や恋人もたくさんいてとてもドラマチックな人生を送った人です。いろいろな側面があるのでピカソと言う素材を見て、調べ課題に向き合ってください。イラストレーターとは、お題を出されて、それをヴィジュアル表現を使って解決していく仕事です。今回のお題は「ピカソ」です。どの部分を切り取って、そこにみなさんの個性を反映して自分のイラストレーションに上げててください。この授業を通して、イラストレーションとはどういうものなのかを理解して今後につながる基礎を身につけてください。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	「ひと」を描く(広告やグッズに使うことをイメージ)		
2	「ひと」を描く		
3	「ひと」を描く		
4	「もの」を描く(雑誌の表紙をイメージ)		
5	「もの」を描く		
6	「もの」を描く		
7	「ふうけい」を描く(ポスターや小説の表紙をイメージ)		
8	「ふうけい」を描く		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。神奈川県在住。立教大学経済学部卒。会社員生活を経てセツ・モードセミナー、安西水丸のイラスト塾で学ぶ。イラストレーターとして主に書籍、雑誌を中心に活動中。第21回ザ・チョイス年度賞受賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	WEBデザインA	秋山カズオ	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>WEBサイトを知識と実習で理解します。WEB用語の習得やWEBデザインの内容、最新のトレンドなど生活の一部となったWEBサイトを理解するとともに、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。</p>			
【講義概要】			
<p>WEBを利用したマーケティングやコミュニケーションは今や日常生活には欠かせないものになっています。最新のWEBのトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、背景にある想いやメッセージを理解する力を育みます。最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	WEBのお話		
2	言葉で学ぶWEBの世界！		
3	社会はWEBで溢れている！		
4	WEBサイトデザイン制作・模写1		
5	WEBサイトデザイン制作・模写2		
6	WEBサイトデザイン制作1		
7	WEBサイトデザイン制作2		
8	WEBサイトデザイン制作3		
9	WEBサイトデザイン制作4		
10	WEBサイトデザイン制作5		
11	WEBサイトデザイン制作6		
12	WEBサイトデザイン制作7		
13	WEBサイトデザイン制作8		
14	WEBサイトデザイン制作9		
15	WEBサイトデザイン制作10		
16	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>秋山 カズオ：1970年香川県生まれ。株式会社DELUXE設立。クリエイティブディレクター。コミュニケーションディレクター。ブランディング、WEBプロモーション、パッケージ、CI/VI、広告制作。東京TDC正会員。日本BtoB広告賞金賞、日本パッケージデザイン大賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	コミックA	やすこーん	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
実践力を伴うコミック表現とは。紙、デジタルほか、自分に合う表現方法を見つけます。			
【講義概要】			
社会に出てすぐ通じような自己表現方法を身に付けるべく教員が経験してきた仕事等を紹介しつつ、コミックの手法で実技制作、講評を行なう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	今までの作品紹介、自己紹介4コマ漫画		
2	自己紹介4コマ漫画（ネーム完成）		
3	自己紹介4コマ漫画（ペン入れ・提出）		
4	LINEスタンプ作り（発想法）		
5	LINEスタンプ作り（キャラ・アイデア出し）		
6	LINEスタンプ作り（40個作画）		
7	LINEスタンプ作り（提出・申請）		
8	ストーリー漫画製作（アイデア）		
9	キャラ・世界観・ストーリー作成		
10	ネーム作成		
11	トキワ荘ミュージアム見学		
12	ネーム最終チェック		
13	個別指導（出版社別アドバイスなど）		
14	漫画原稿提出・講評		
15	個別指導（出版社別アドバイスなど）		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
漫画家、文筆家。1991年小学館でデビュー。最近は鉄道旅の紀行文や漫画、エッセイなどでも活躍中。代表作は『GOGO♪たまごっち!』シリーズ、『おんな鉄道ひとり旅』（小学館）、『メシ鉄!!!』（集英社）など。他、東洋経済オンライン『鉄道漫遊記』など連載多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ZINE制作と原画展	関根秀星 須田浩介	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ZINEの制作により、自分のイラストをプロダクトに起す事の過程を経験する。 グループ展やイベントに向けてのアプローチを意識し、複数人での空間作りやその中での自作品の見せ方や伝え方を学ぶ。			
【講義概要】			
多くのイラストレーターの方が個展やイベント出展の際に制作しているZINEを制作する。その為のアナログ作品を制作し、最終的にはその原画作品の展示とZINEの展示販売を実際に行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、展示会場下見		
2	テーマ決め		
3	作品制作		
4	作品制作		
5	作品制作		
6	作品制作		
7	作品制作		
8	中間講評会		
9	作品制作		
10	作品制作		
11	作品制作		
12	作品制作		
13	作品提出、中間講評		
14	マガジンレイアウト決め		
15	展示作品講評会		
16	完成マガジン講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
関根秀星：2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。 須田浩介：イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年～2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポートフォリオ	白川桃子	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオ制作を通して、自身のクリエイティビティを発揮した上でブランディング構築をしたり、仕事に対する意識を高めたりと、将来のキャリア形成に役立てることを目標とします。ポートフォリオに完成はなく、日々アップデートしていくものです。いきなり100点は目指さず、まずは手を動かしてつくってみることからはじめましょう。</p>			
【講義概要】			
<p>「伝わるポートフォリオづくり」</p> <p>就職活動時に必要なポートフォリオにおける、基本から実制作までステップを経て進めていきます。</p> <p>基本では、そもそもポートフォリオをつくる目的や、自己分析、業界理解、制作プロセス・ポイントなどを学びます。実制作では個別のフィードバックを通して一緒に相談しながらポートフォリオをつくりあげ、自身の今後につなげていきましょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／ポートフォリオの「目的や役割」		
2	ポートフォリオの「構成とテーマ」		
3	ポートフォリオの「デザインとレイアウト」		
4	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
5	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
6	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
7	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
8	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>静岡大学教育学部卒業。2009年株式会社コンセント入社。企業の広告プロモーション、コミュニケーション支援などメディア問わず幅広くアートディレクション・デザインを手掛ける。編著に、企画編集・デザインを自身で行った『たのしく、イラストディレクション!』（株式会社ピー・エヌ・エヌ）がある。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインの仕事と現場	大久保裕文	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイデアや実際の作業の説明。			
【講義概要】			
いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義、ディスカッション		
3	講義、ディスカッション		
4	講義、演習		
5	講義、ディスカッション		
6	講義、ディスカッション		
7	講義、演習		
8	講義、ディスカッション		
9	講義、ディスカッション		
10	講義、演習		
11	講義、演習		
12	発表・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義およびディスカッション形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年東京都下谷生まれ。セツ・モードセミナー、桑沢デザイン研究所卒業。雑誌を中心に書籍、ポスター、新聞広告等で活動中。2005年、2006年読売広告金賞。2009年桑沢賞受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	パッケージデザイン & セールス プロモーション	岩谷昇 藤本陽	1単位 27時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パッケージデザインの授業では購入者ターゲットを明確に決め、ブランディングやターゲットに有効な訴求をすることが目的です。また、セールスプロモーションの授業では先にデザインしたパッケージ（商品）の特徴を魅力的にアピールし、購買意欲を喚起させるツールを制作するのが目的です。			
【講義概要】			
1.デザインする商品を決める。 2.ペルソナ（購入者ターゲット）を設定する。 3.売場を設定する。（学校外への視察も検討） 4.実際にデザインする。紙面上だけでなく、モック（ダミー）を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	パッケージ企画制作		
3	企画プレゼン		
4	パッケージ制作		
5	講評、個別指導		
6	セールス企画会議		
7	プロモーションツール制作		
8	プロモーションツール制作		
9	プレゼンテーション、講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトウーズ』をプロデュース。TIS会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	adobe検定	三浦英介	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>デザイナーが必須としているアドビ社のアプリケーションツール、イラストレーター、フォトショップの能力検定対策講座。PC操作と検定試験の過去問題を解説し傾向と対策を行う。サーティファイ検定試験(スタンダード)の合格率向上を目指すと共に、就職活動に向けた意識向上をはかる。</p>			
【講義概要】			
<p>試験内容の概要。アドビCCのログインと書体アクティベート設定。アプリケーションの基本操作とツール解説を行いながら、問題集「模擬問題-1」から「模擬問題-3」までの「実技・実践」のポイントを説明する。また就職に向けての最低限必要なデザイン・スキルを身につける。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	イラストレーター能力検定対策講座		
3	基本操作とツール解説		
4	フォトショップ能力検定対策講座		
5	基本操作とツール解説		
6	PC操作と検定試験の過去問題解説		
7	模擬問題-1解説		
8	模擬問題-1実技・実践		
9	模擬問題-2解説		
10	模擬問題-2実技・実践		
11	模擬問題-3解説		
12	模擬問題-3実技・実践		
13	サーティファイ検定試験(スタンダード)模擬試験		
14	サーティファイ検定試験(スタンダード)模擬試験		
15	就職対策講座		
16	総括		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1993年から映像制作会社にてキャリアをスタートする。デザイナーとしてクリエイティブ分野に携わったのち、フリーランスを経て、現在はアマテリアス代表。オーストラリアのゴールドコーストを中心に異文化教育の指導。アニメ制作会社タイフーン・グラフィックスの立ち上げから参加している。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	WEBデザインB	中須賀美和子	1単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
WEBメディアを利用したコミュニケーションやプロモーションの基礎知識を理解します。WEB用語の習得やWEBデザインの内容、最新のトレンドなど生活の一部となったWEBを理解するとともに、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。			
【講義概要】			
WEBを利用したマーケティングやコミュニケーションは今や日常生活には欠かせないものになっています。最新のWEBのトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、背景にある想いやメッセージを理解する力を育みます。最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	WEBって何？1		
2	WEBって何？2		
3	サイト制作の裏側		
4	WEBプロモーション		
5	リスティング・リターゲティング・SEO		
6	WEBサイトデザイン制作・模写		
7	WEBプロモーション企画		
8	コーディング基礎		
9	WEBサイトデザイン制作1		
10	WEBサイトデザイン制作2		
11	発表・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1979年愛知県生まれ。名古屋芸術大学美術学部デザイン学科卒業。レシップ株式会社デザイン室勤務を経て株式会社DELUXEに入社。ウェンディーズ・ファーストキッチン、L'OCCITANE、ROLA×REBECCA MINKOFF、Cafe de Miki with Hello Kitty、キャラクター制作・監修にふなっしー、ガチャピン・ムック、うえたんなど。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵本イラストレーションA	竹内通雅	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵本表現における言葉と絵の関係性について考察し、実技演習を通して表現力、技術力を培う。			
【講義概要】			
同一テーマで手製絵本を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス、課題説明 プロット等確認、相談。ラフ画制作		
2	ラフ画チェック		
3	本画制作		
4	進捗状況チェック		
5	本画制作チェック		
6	仕上げ相談、制作		
7	仕上げ相談、制作		
8	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1957年長野県生まれ。1979年創形美術学校研究科版画課程修了後現代美術作家として活動。1983年よりイラストの仕事を開始。1986年第3回ザ・チョイス年度賞大賞受賞。1996年から絵本作家として活動中。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵本イラストレーションB	岡山伸也	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
既存の物語という限定された条件の中、制作することで、いかにして自分のオリジナリティを反映させ作品、商品として質の高い絵本に仕上げていくかを学びます。			
【講義概要】			
名作物語やおとぎ話に挿絵を描く形で絵本を制作します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	絵コンテ製作		
3	絵コンテ講評		
4	ラフ～本描き		
5	本描き		
6	本描き		
7	本描き		
8	製本・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1982年茨城県生まれ。2006年創形美術学校ファインアート科卒業。2007年同校研究科絵画造形課程修了。2008年パリ国際芸術都市滞在。国内外で個展やグループ展を開催。絵本やイラストの仕事多数。絵本『とおいほしでも』（文/内田麟太郎、絵本塾出版）『ゆきわたり』（文/宮沢賢治、河出書房新社）など。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ファッションイラスト	平沢けいこ	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
与えられたテーマの中で自分の世界を表現しつつも自己満足に終わらず、他者にも伝わるイラスト表現を考える。			
【講義概要】			
テーマに沿ったイラストを制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/課題の出題		
2	制作		
3	制作		
4	制作過程チェック		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	講評会/課題の出題		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作過程チェック		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年東京都生まれ。PATER大賞展PATER賞受賞。テンプスタッフ『テンプリん。』などのキャラクター他、広告・出版など主に女性向けのイラストレーションを手掛ける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルイラスト	宮古美智代	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>イラストレーションのマーケットにおいて、エディトリアルな占める割合は大きい。実際のエディトリアルデザインの現場に携わるアートディレクターによる実習。ADの視点において評価していく。</p>			
【講義概要】			
<p>与えられた短編を読み、その文章のためのイラストを描く。文章を読み解き、何を描くべきか、また、どのようにレイアウトデザインにおとしこんでいくか。その考えと実制作を行なう。</p> <p>①. 各学生の作品を見る。短いエッセイを読んでもらい、どんな絵を描きたいと思うかディスカッション ②. 雑誌や絵本等を見て、イラストと文章の関係について考えてみる。短編を読み、描くモチーフ、ページ構成を考える。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	第1課題説明、ラフ作成		
3	ラフ確認、課題制作		
4	課題制作、進行状況確認		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	第1課題講評会		
9	第2課題説明、ラフ作成		
10	ラフ確認、課題制作		
11	課題制作、進行状況確認		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	第2課題講評会		
16	個別指導、ブラッシュアップ		
17	最終講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1976年生まれ。アートディレクター。イラストレーター・石倉ヒロユキ、装幀家・緒方修一のアシスタントを経て、現在、雑誌『Coyote』『MONKEY』『暮しの手帖』のアートディレクター。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション個性と表現	河井いづみ	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
自分の個性に気づき、それを表現力に繋げ、オリジナリティーある作品を制作する。			
【講義概要】			
雑誌・webなどの星占いページへの掲載を想定し、12星座を自分の世界観で描く。イラストレーションと共に文字やデザインも合わせて仕上げる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	課題作品講評		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	制作		
8	制作指導		
9	課題作品講評		
10	制作指導		
11	制作		
12	制作指導		
13	課題作品講評		
14	制作指導		
15	制作指導		
16	制作		
17	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター、画家。長崎県生まれ。2002年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。 鉛筆画やリトグラフによる独自のテクスチャを生かした、躍動と静けさが同居する世界観が魅力。2003年より3年間フランス・パリのアーティストインレジデンス等で活動。現在は東京を拠点に、書籍装画、広告、ファッションやパッケージのイラストやデザインなどを制作する他、国内外での展示も多数行う。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストアニメーション	飯田 萌	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
手描き、コマ撮りなど様々なアニメーション表現を作品鑑賞から探り、絵が動く楽しさを、自身の制作を通し経験する。			
【講義概要】			
様々なアニメーション作品の鑑賞とアニメーション制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	作画と作品鑑賞		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	作画と作品鑑賞		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	作画と作品鑑賞		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	講評会(作品鑑賞)		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 2010年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。2012年同大学院修了。フジテレビ『ベピスマ』、NHK『デジスタ・ティーンズ』にて作品紹介。アニメーション作品『臓器大学』が学生CGコンテスト銀賞、TSSショートムービーフェスティバル佳作受賞など。2015年タンパリンギャラリーにて個展。その他、MONSTER展(ヒカリエ)、MONSTER展inNY、bustercall ワンピース展など多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	短編コミック	石山さやか	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
漫画作品(最大16ページ)の制作。 これまで培ってきた自分の作風・興味のあるテーマを大事にしつつ、さらに発想力・考える力を磨いてゆきます。			
【講義概要】			
よく知られる物語の要素を置き換え、自分の漫画作品に仕上げる『翻案』を行います。物語の趣旨を捉える理解力、自分なりのアイデアを込め、作りあげ る発想力を問います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・プレスト		
2	制作指導		
3	進捗チェック (ネーム)		
4	制作指導		
5	進捗チェック (ネーム直し・下書き)		
6	制作指導		
7	進捗チェック (作画)		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンドア』（祥伝社）発売。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	プロダクトイラストレーション	緒方 環	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
商品に付加価値を与えるための「絵」としてイラストレーションを制作する。同時に雑貨マーケットのイラストレーションを研究する。			
【講義概要】			
プロダクトイラストレーションについて、いくつかのテーマをもとに実際のシチュエーションを想定し、制作する。イラストレーションを使ったオリジナルプロダクト製品及びロゴやパッケージ等を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／第一回課題の説明		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	第一回課題講評・第二回課題説明		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	第二回課題講評・第三回課題説明		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	第三回課題講評・第四回課題説明		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年生まれ。多摩美術大学テキスタイルデザイン科卒業後、渡仏。2年間のパリ滞在を経てフリーのイラストレーターに。女性誌を始め、書籍、企業カタログ、アパレルブランドイメージビジュアル、商品パッケージへのイラスト提供。2011年よりテーブルウェアブランド『hakuji』のデザイン&プロデュース。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年IL専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ	上野仁志 田中北斗 岡山拓史	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。 インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。			
【講義概要】			
自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。 就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）		
2	ポートフォリオチェック		
3	講義（面接・プレゼン）		
4	制作		
5	ポートフォリオチェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	2回目（講義：クリエイティブの就職について）		
10	制作		
11	ポートフォリオチェック		
12	制作		
13	制作		
14	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
15	制作		
16	制作		
17	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
上野 仁志：1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。			
田中北斗：1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家（デザインコンサルティング）			
岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。			